

第4回

# ワーク・ライフ・バランス大賞

## 応募要領

**主催**

次世代のための民間運動

～ ワーク・ライフ・バランス推進会議 ～

### 全国生産性機関

日本生産性本部

北海道生産性本部

東北生産性本部

中部生産性本部

関西生産性本部

中国生産性本部

四国生産性本部

九州生産性本部

県生産性本部・協議会

ワーク・ライフ・バランスは、子育てや介護に直面している人だけの課題ではなく、豊かな社会生活を送るため、すべての組織、地域や人に関わる大切なテーマです。

ワーク・ライフ・バランス推進会議は、産業界労使、学識経験者から構成され、2006年8月の発足以来、「働き方」と「暮らし方」双方の改革を進め「調和の取れた生活」の実現を図る運動を進めています。私たち推進会議では、「ワーク・ライフ・バランス大賞」として、優れた独自性ある諸活動、創意工夫、および効果を上げた展開事例を幅広く募り、ワーク・ライフ・バランスの実効性かつ先進性ある取組みを表彰してまいりました。

今年度は、表彰の趣旨は変わりませんが、過去の審査を鑑み、応募部門を整理統合する一方、ワーク・ライフ・バランスの継続の観点から“経営方針の明示ないしは経営トップの取組み”、“特定のテーマにおいて先進的ないしは独自性ある取組み”および“仕事と生活の調和推進に多くの困難を抱える業種における積極的な取組み”についても選考の対象とし、表彰を行います。

同時に、ワーク・ライフ・バランス推進の標語を募り、ワーク・ライフ・バランスの一層の進展を支援します。

多数のご応募を心よりお待ちしております。

### 「次世代のための民間運動 ～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」 推進委員

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ●池田守男 (株)資生堂相談役          | 江上節子 武蔵大学教授、早稲田大学大学院客員教授 |
| ●鹿嶋敬 実践女子大学教授            | 河野真理子 (株)キャリアネットワーク会長    |
| ●加藤裕治 (財)中部産業・労働政策研究会理事長 | 清家篤 慶應義塾大学教授・塾長          |
| ●松原亘子 (財)21世紀職業財団会長      | 南雲弘行 日本労働組合総連合会事務局長      |
| ●森田富治郎 第一生命保険(株)会長       | 樋口美雄 慶應義塾大学教授            |
- (●は代表幹事)

## 募集の対象となるテーマ

### 1 働き方

人材の多様化に対応し、柔軟な働き方を可能にした事例や生産性向上を目指した業務の見直し、時間外労働の削減などで成果をあげている例

### 2 経営

ワーク・ライフ・バランス推進を経営方針として位置づけ、経営トップがリーダーシップを発揮して成果をあげている例

### 3 地域活動

地域活動への社員の参加支援などを行い、地域活性化に貢献・成果をあげている例

### 4 子育て

育児支援制度や復職支援制度の整備・運用を行い、柔軟な働き方の実現や離職率の低下などの成果をあげている例

### 5 家庭・家族

家族(子ども・親など)とのコミュニケーションを支援する取組みを行い、成果をあげている例(家族による職場見学など)

### 6 介護

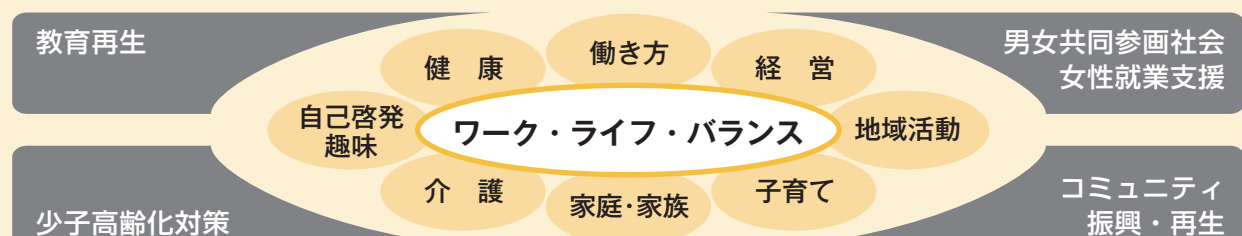
介護を必要とする従業員への支援として、短時間勤務制度や休暇制度の整備・運用の工夫を行い、成果をあげている例

### 7 自己啓発・趣味

自己啓発を促すため、長期有給休暇、有給休暇、ボランティア休暇などの整備や取得率を高める工夫を行い、成果をあげている例

### 8 健康

休暇制度の充実や、健康管理、メンタル予防、職場への復帰支援などの整備・運用の工夫を行い、従業員の健康増進に効果をあらわしている例



## 表彰・選考

ワーク・ライフ・バランスの推進において、企業・組織で優れた成果をあげている事例や、地域・社会に大きな貢献を果たしている事例を表彰いたします。

### 1. 表彰

「優秀賞」：優れた取組み 6 件以内

「大賞」：とくに優れた取組み 1 件

### 2. 選考の観点

今年度は8つの対象テーマに関し、次のいずれかの観点に該当するものを選考いたします。

- ワーク・ライフ・バランス推進について、幅広い観点に立って総合的かつ先進的な取組みを行い、優れた成果をあげている活動か
- 特定のテーマについて、ワーク・ライフ・バランスの推進に先進的ないしは独自性ある取組みを行い、優れた成果をあげている活動か
- ワーク・ライフ・バランス推進に多くの困難を抱えている業種にあつて、課題解決に積極的な取組みを行い、優れた成果をあげている活動か
- ワーク・ライフ・バランス推進のため、社会的に大きな影響を及ぼす普及支援を行い、優れた成果をあげている活動か

### 3. アピールポイント

#### (1) 上記「2. 選考の観点」(a) (b) (c) の応募の場合

次の①～④がポイントとなりますので、具体的にご記入ください。

- 貴組織のワーク・ライフ・バランス推進のための課題はどのような内容で、その課題を解決することにより、実現しようとした具体的な目標はどのような内容でしたか
- ワーク・ライフ・バランスの課題解決に向け、経営トップは、具体的にどのようなリーダーシップの発揮や取組みを行いましたか
- 従業員の働きがいや働きやすさを高めるため、どのような取組みが有効でしたか
- その取組みにより、顧客満足や業績あるいは生産性の向上など、どのような成果が現れましたか

#### (2) 上記「2. 選考の観点」(d) の応募の場合

活動の効果が特定の対象に限定されず、その取組みが他の組織においても模範となるなど、社会への波及効果が期待されるかがポイントとなりますので、具体的にご記入ください。

### 4. 表彰式

2010年11月11日開催の「ワーク・ライフ・バランス・コンファレンス」において、表彰します。受賞された場合、コンファレンスで行われる表彰式への出席をお願いいたします。

#### ◆受賞の特典◆

- ・賞状及び副賞を授与いたします
- ・本推進会議のホームページ（URL：<http://www.jisedai.net/>）などで、受賞を告知いたします
- ・受賞者のホームページなどで、広報することができます

### 5. その他

希望される組織には、コメントをフィードバックいたします。  
その際、応募申込書1の希望欄に○印をご記入ください。

同時に

#### ワーク・ライフ・バランス推進「標語」の募集

ワーク・ライフ・バランス推進のための「標語」を募集します。  
優秀作品は表彰し、本推進会議のホームページに氏名・作品を掲載します。  
詳しくは、裏面の応募要領をご覧ください。

# 応募方法

## 1. 応募の締め切り：2010年9月17日（金）【必着】

## 2. 組織が自ら応募する場合

- (1) 応募申込書（ワード形式）を本推進会議のホームページ（URL：<http://www.jisedai.net/>）から、ダウンロードし、必要事項をご記入ください

### 応募申込書について

- 1) 選考の観点(a)(b)(c)の場合・・・「応募申込書1」、「応募申込書2-①」 各1部  
2) 選考の観点(d)の場合・・・「応募申込書1」、「応募申込書2-②」 各1部
- (2) 会社案内とともに、取組みの概要・成果がわかるパンフレット・資料あるいは掲載記事などの関連資料を適宜添付してください
- (3) 下記事務局宛に、上記(1)、(2)を郵送あるいは電子メールにてご送付ください

## 3. 他の組織を推薦する場合

- (1) 推薦される理由を簡潔にまとめた推薦書（様式自由、A4判1枚程度）と推薦者のご連絡先を、下記事務局宛て、郵送、電子メールあるいはFAXでご送付ください
- (2) 応募の締め切りは上記1の通りです。早めにご推薦くださいますようお願いいたします
- (3) 推薦書が到着した後、推薦された組織に、事務局よりご連絡いたします

## 4. その他

- (1) 選考に際して、ご提出いただいた資料以外に、追加資料などのご提出やご照会をお願いすることもありますので、あらかじめご了承ください
- (2) 選考結果については、最終審査後すみやかにご連絡いたします
- (3) 応募申込書記載の「個人情報の取扱いについて」にご同意のうえ、ご応募ください

### 2009年 第3回「ワーク・ライフ・バランス大賞」受賞者

詳細および過去の受賞者等は、ホームページ参照

#### 「組織活動」部門

	組織名	取組みの主なポイント
大賞	アステラス製薬株式会社	合併後の課題として、労働時間削減とMRの離職率低下を推進
優秀賞	大和証券グループ	トップのリーダーシップのもと、グループ企業全体で推進
	萩市民病院	全員参加型会議で働きやすい勤務体制を検討して実現

#### 「普及支援活動」部門

	組織名	取組みの主なポイント
優秀賞	株式会社キッズベースキャンプ	ワーキングマザーのキャリア継続のために、学童保育支援サービス事業を展開
	足立区（東京都）	ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定と全庁的な行政サービスによる支援
奨励賞	株式会社ワイズスタッフ	「ネットオフィス」によるテレワークを普及促進し、柔軟な働き方を支援

#### 「標語」部門

- 「見直そう仕事時間 見つめよう自分時間」 ○「仕事ヨシ！生活ヨシ！心体ヨシ！」 ○「めりはりワーク・いきいきライフ」

ワーク・ライフ・バランス推進に役立つような標語を、同時に募集します。

### 応募要領

～優秀作品は表彰し、ホームページに作品・氏名を掲載～

- 作者本人からの応募を基本とし、1人1件までとします。組織内でまとめてご送付いただいても結構です。
- 応募申込書は、下記推進会議のホームページからダウンロードし、必要事項をご記入ください。
- 郵送、電子メール、あるいはFAXにて下記事務局宛、2010年9月17日（金）【必着】までに「個人情報の取扱いについて」にご同意のうえ、ご応募ください。

### お問い合わせ先

## 「次世代のための民間運動 ～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」

【事務局】 公益財団法人 日本生産性本部 社会労働部（担当：新井、吉田、鈴木）

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1

電話：03-3409-1122 FAX：03-3409-1007

URL：<http://www.jisedai.net/> E-mail：[jisedai@jpc-net.jp](mailto:jisedai@jpc-net.jp)